



FOCUSED ON THE TRUTH

俳優／映画『リー・ミラー 彼女の瞳が映す世界』主演

ケイト・ウィンスレット

報道写真家が最前線で見えたものとは

2025年5月9日に公開を迎えた映画『リー・ミラー 彼女の瞳が映す世界』。同作でウィンスレットが演じたのは、モデルから報道写真家へと異例の転身を遂げた実在の女性、リー・ミラーだ。その活動内容よりも異色の転身ぶりに焦点が当てられることの多いミラーだが、ナチスのダッハウ強制収容所の存在を世界にいち早く伝えたことなど、その功績は戦争の最前線に身を置いていたからこそ得られたものだという。映画の中で、ウィンスレットはどのような心境でミラーを演じたのか。CNNが話を聞いた。



インタビュー

クリスティアン・アマンプール

イラン人の父と英国人の母を持つ。生まれはロンドンだが、幼少期をテヘランで過ごす。英国でジャーナリズム養成講座を修了。渡米し、ロードアイランド大学でジャーナリズムを専攻、首席で卒業。1983年、CNNに入社。数々の紛争地帯で現地取材を行い、ジャーナリストとして高い評価を得る。2021年に卵巣がんで卵巣の摘出手術を受けたことを発表。現在も第一線で活躍する。

ゲスト

ケイト・ウィンスレット

1994年、映画『乙女の祈り』でデビュー。長編映画出演4作目となる『タイタニック』で世界的な名声を確立。その後も『エターナル・サンシャイン』や『ホリデイ』といった多様な作品で、記憶に残る演技を披露。映画『愛を読むひと』では待望のアカデミー主演女優賞に輝くなど、幅広い役柄を演じ分け、観客を魅了するその卓越した才能が高く評価されている。1975年、イギリス生まれ。



Listening Quiz

68 「20世紀を代表する従軍記者の1人」

Christiane Amanpour It is wonderful to see you playing one of the most illustrious war correspondents of the 20th century. What made you choose this character, who really wasn't very well known for what she was really best at?

Kate Winslet She wasn't well known and she wasn't revered, I felt, for the right reasons. I knew who Lee Miller was, and I was aware of her work as a photographer, and I knew what she looked like, but the headline description of her was a former muse and ex-lover of Man Ray, ex-cover girl, ex-*Vogue* model—these, sort of, reductive things that reduced her power, infantilized her, stuck her in a moment in history that she couldn't wait to get away from.

Amanpour It wasn't until after she died that her son found boxes of her diaries and photos hidden away in the attic. It's almost like she didn't want to tell. Why do you think that was?

Winslet I don't think it's a case of “want”; I think it's a case of “couldn't.” So many people had terrible, debilitating PTSD after World War II, and Lee was no exception to that. The level of exposure to such extreme horror cracked her open and revealed old wounds that she simply had to do her very best to close. And part of that was closing her photographs and prints into boxes, shutting them away, and never speaking of it.

illustrious:

(功績によって) 著名な、傑出した

war correspondent:

従軍記者

be good at:

～を得意とする

revere:

～を深く尊敬する

for the right reason:

正当な理由で、しかるべき理由で

description:

形容、描写

muse:

(芸術家の) 創作意欲をかき立てる人

Man Ray:

マン・レイ ▶アメリカの芸術家。

reductive:

矮小化する、単純化する

reduce:

～を減少させる、弱める

infantilize:

～を子供扱いする

stick A in B:

AをBに押し込める、封じ込める

attic:

屋根裏、屋根裏部屋

debilitating:

〈病気などが〉普通の生活ができないほど重篤な

PTSD:

心的外傷後ストレス障害

crack...open:

…に穴をぶち開ける

reveal:

～をあらわにする、暴く

close:

①～をふさぐ、閉ざす

②《close A into B》AをBにしまう、封印する

shut...away:

…をしまい込む

クリスティアン・アマンプール 感激ですね、20世紀を代表する従軍記者の1人を演じるあなたを見られるのは。(映画の主題として) この人物を選んだのはどうしてですか。彼女は真に得意とする分野では、実はそれほど知られていませんでしたよね？

ケイト・ウィンスレット たしかにそれほど有名ではありませんでしたし、正当な理由では尊敬されていなかったように感じました。私はリー・ミラーが誰なのか知っていたし、写真家としての活動も知っていたし、どんな容貌かもわかっていましたが、彼女を形容する表現はいつも扇情的で、「マン・レイのかつてのミューズで元恋人」「元カバーガール」「ヴォーグ誌の元モデル」などでした——いわば、彼女を矮小化して、非力な存在に見せたり、子供扱いしたり、本人が一刻も早くぬけだしたがっていた過去の時期(のイメージ)に封じ込めるような描写ですね。

アマンプール リーが亡くなって初めて、屋根裏に隠してあった彼女の日記や写真の箱を息子さんが見つけました。まるでこれについては語りたくなかったかのようです。どうしてだと思いますか。

ウィンスレット それは「語りたかったかどうか」という問題ではなく、「語れなかった」んでしょうね。第2次世界大戦後には、実にたくさんの人が深刻で大いに生活の支障となるほどのPTSD(心的外傷後ストレス障害)に苦しんでいましたが、リーも例外ではありませんでした。あれほどとてつもなく恐ろしい状況を目にしたことで心のよろいが破られ、それまでに負ってきた傷が露わになり、とにかくその傷をどうにか縫い合わせようとするしかなかったんです。そしてその対応の一環としてその写真類を箱に入れて、しまい込み、二度とその経験について語ろうとしなかったのです。



『リー・ミラー 彼女の瞳が映す世界』
2025年5月9日(金) TOHOシネマズシャンテほか ROADSHOW
配給: カルチュア・パブリッシャーズ
©BROUHAHA LEE LIMITED 2023

■ STORY

1938年フランス、リー・ミラー(ケイト・ウィンスレット)は、芸術家や詩人の親友たちと休暇を過ごしている時に芸術家でアートディーラーのローランド・ペンローズ(アレクサンダー・スカースガルド)と出会い、瞬間に恋に落ちる。だが、ほどなく第2次世界大戦の脅威が迫り、一夜にして日常生活のすべてが一変する。写真家としての仕事を果たしたリーは、アメリカ『LIFE』誌のフォトジャーナリスト兼編集者のデイヴィッド・シャーマン(アンディ・サムバーグ)と出会い、チームを組む。1945年従軍記者兼写真家としてブーヘンヴァルト強制収容所やダッハウ強制収容所など次々とスクープを掴み、ヒトラーが自死した日、ミュンヘンにあるヒトラーのアパートの浴室で戦争の終わりを伝えるが……。